

社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

支部活動推進計画

一 埽支部一

モデル支部指定年度：平成26年度～平成29年度

支え合い 助け合う ふれあいのご近所づくり



モデル支部推進事業

ふじみ野市地域福祉活動計画（平成25年度～29年度）
重点項目1「モデル支部の設置による支部活動推進計画の策定」

もくじ

埴支部の状況	-----	1
計画策定経過、今後の予定	-----	1
地域の状況（地区懇談会より）	-----	2
支部マップ	-----	4
地域の主な困りごと	-----	6
地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント	-----	6
基本方針	-----	7
支部活動推進計画	-----	7

モデル支部推進事業

ふじみ野市社会福祉協議会では、町会・自治会・町内会を単位に、現在54か所の社協支部を設置し、見守り活動やふれあい・いきいきサロン、世代間交流事業、新入学児童お祝い事業、社協会員募集や共同募金運動等、様々な小地域福祉活動に取り組んでいます。

しかし、高齢化率が高い地域や子育て世代の多い地域、世帯数や人口、マンションや新興住宅地等の住宅の形態、区画整理地や商業地、市街化調整区域など、地域によって生活環境が異なることから、その地域（支部）が抱える福祉課題も異なっています。

この事業は、これらの課題に対応するため、四つのモデル支部を指定し、「支部活動推進計画」を策定することで、その地域性に対応したよりきめ細かい小地域福祉活動を強化・推進するとともに、モデル支部ごとに取り組まれた活動や成果を評価・検証し、市内全域において支部活動の活性化を図ることを目的としています。

〔モデル支部〕

滝支部、埴支部、緑ヶ丘支部、みほの支部

〔指定期間〕

平成26年4月16日～平成30年3月31日

埽支部の状況（平成25年度）

- 1 支部長 古谷絹子
- 2 福祉委員13人（民生委員・児童委員1人含む）
- 3 地域の状況（平成26年5月1日現在）
 - 世帯数 199世帯
 - 人口 394人
 - 年少人口率 6.60%
 - 高齢化率 37.06%
- 4 支部の主な活動
 - 見守り活動（見守りチーム11、福寿草配布部数48部）
 - ふれあい・いきいきサロン（様々な趣味の集いや四季の集い、ウォーキング等を実施し、年63回、延べ808人の参加がある）
 - 新入学児童お祝い事業の開催
 - 社協会員増強運動、日赤社員増強運動、赤い羽根共同募金運動、歳末たすけあい運動の実施
 - 埽自治会行事への協力
 - 財源確保のため支部独自でバザー等を実施 など



計画策定経過、今後の予定

年月日	内容
平成26年 4月16日	モデル支部指定
6月11日	4か所のモデル支部による支部長会議
7月 2日	第1回地区懇談会
11月17日	埽支部福祉委員会議
平成27年 2月 4日	第2回地区懇談会
3月16日	計画の策定
平成27・28年度	計画の実施
平成29年度	計画の評価・検証

地域の状況（地区懇談会より）

これらは、地区懇談会で住民から寄せられた「地域の状況」を分類したものです。ここから地域の課題とその解決策を整理し、支部活動推進計画にまとめました。

大区分	中区分	小区分（参加者からの
高齢化の進行に伴う心配や不安	夫婦二人、一人暮らし高齢者の増加による介護、孤立等に関する不安	将来、孤立、孤独、認知症が心配
		一人暮らしや夫婦二人暮らしの場合の介護問題
	夫婦二人、一人暮らし高齢者との日常的な付き合いの希薄さ、非常時への備えの不安	近所付き合いがない
		高齢者及び一人暮らしの方が多くなり、人と関わることをできなくなる人が増えるのではと心配
		見守りチーム以外の方の安否確認
		非常時の対応
子ども、子育て世代への関わりが不十分	身の回りのことを頼れる人手や交通手段等の心配	書類等の事務処理が困難な人がいる
		安心して頼れる人がいない
	若い世代の課題（困りごと）が分からない	子どもの数が少なく困りごとなどを知りたい 子どもが少ない
世代間の交流や理解の不足	次世代の担い手（福祉活動など）不足	若い世代が少なく次世代の担い手がいない
転入者との関わり	世代間の交流や理解の不足	若年世帯の増加により、地域活動に対する無関心層の増加が心配
		60歳以上と子育て世代との融合をどうするか
転入者との関わり	関わりや地域活動への参加における心配	新しい住民との関わり方が心配
その他		日中に小学生、幼稚園児だけになっている家庭がある

地区懇談会とは？

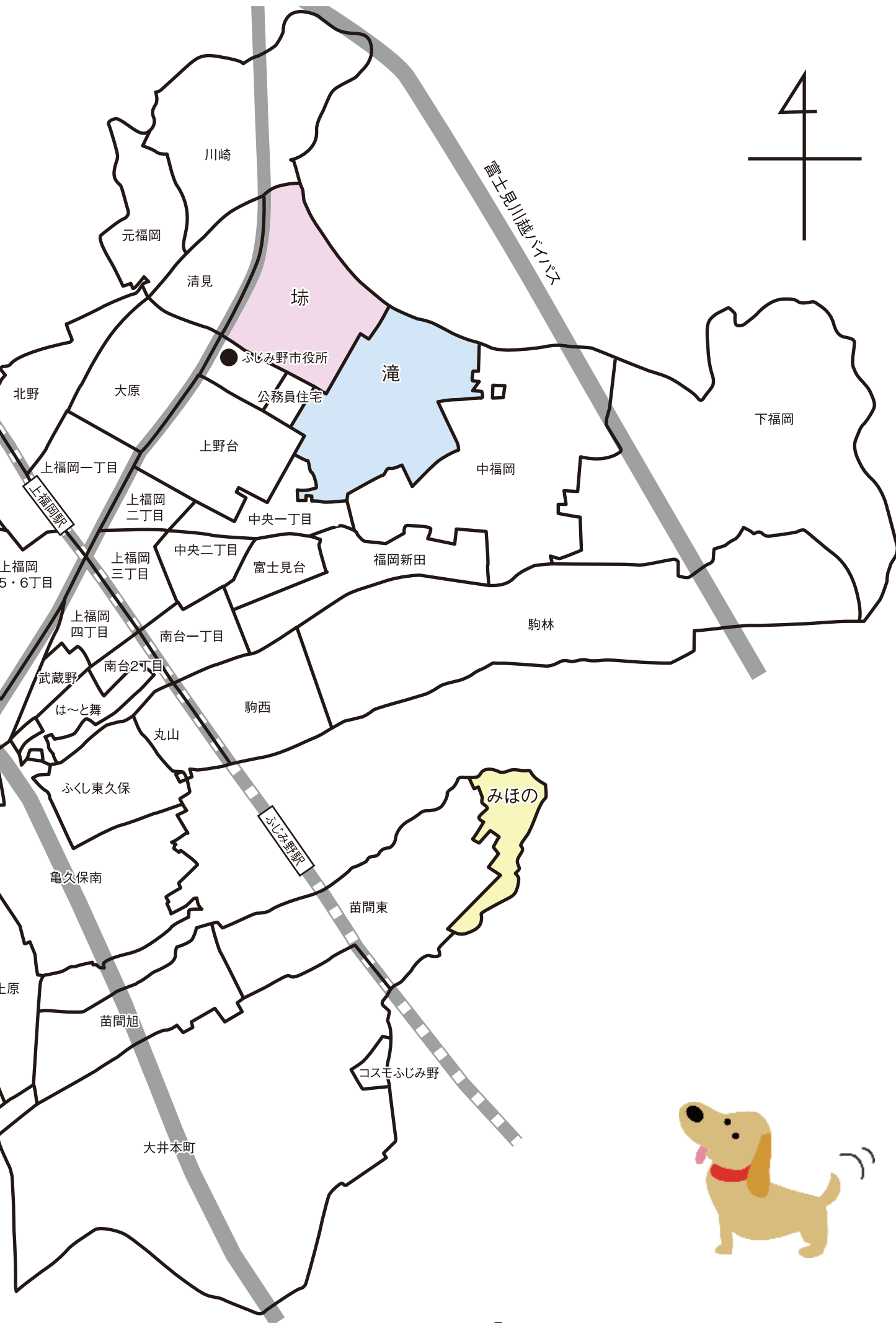
地域での福祉に関する困りごとやその解決策などを話し合うために行ったもので、町会・自治会の役員、民生委員・児童委員、子供会、いきいきクラブ、福祉施設など、多くの住民に参加していただきました。

全ての意見)		
老老支援の傾向がますます高まる	当面は高齢者が地域を支えざるを得ない (高齢者の地域貢献)	地域支援の限界と家族・行政との連携
生活が大変	一軒家に一人暮らしは不効率	
人とかかわりができなくなりそう	地域の中に溶け込めない人がある(行事などにも)	
高齢化と一人暮らし世帯が増えて、地域とかかわりを持たない孤立した世帯が多くなるのが心配	一人暮らし世帯への接し方が分からない	
見守りチームの協力者に留守時の一ヶ月分の連絡先予定表を配布	近所で声をかけあうなど周りの人とのコミュニケーション	
一人暮らしなので非常時通報をA警備会社に依頼した	緊急時に自分に代わって緊急連絡先へ連絡する方法	災害時の避難、安全性の確認の仕方
買い物、外出ができなくなる人が増えることが心配(体力、健康、病気など)→体作り	主治医の病院への搬送	体力的に弱くなっている人、外出できない人が増加
いろいろなこと、いろいろな時に安心して頼れる交通手段がない	高齢化で地域の活動に参加できない方が増えている	
子育て世代に目が向きにくい	若い世代が住みやすいまち	
子どもが少なくなっており町内に活気がなくなるのではないかと		
次世代の担い手がいない	若い世代の福祉活動の担い手がいない	
共働きが多くて地域における活動や手伝いも難しい	若者が福祉問題にあまり関心を示さないことが問題	
異世代交流がない	高齢者と若者の歩み寄りが足りない	
新しい転入者の参加のあり方		
高齢者に限らない単身世帯の増加	親子関係が希薄な世帯があり将来が心配	

ふじみ野市社会福祉協議会 支部マップ

(平成27年3月1日現在)





地域の主な困りごと

地区懇談会の声から、地域の主な困りごととその解決のためのポイントを整理しました。

住民の高齢化が進み、心配ごとや不安が広がっている

- 一人暮らしや夫婦だけの高齢者が増えて孤立、孤独が心配
- 近所付き合いが希薄になってお互いの様子が分からない
- 買い物や通院などの外出が難しい高齢者が増えている



子どもや子育て中の世代との関わりが少ない

- 子どもや子育てに関する困りごとが見えにくくなっている
- 子どもが少なくなって地域の活気がなくなりつつある

福祉活動の担い手が増えない。

- 地域の活動を担う次世代の人材が少ない
- 高齢化に伴って地域の活動を担えない人が増えている

「地区懇談会での
意見」より

地域の主な困りごとを解決するうえでのポイント

住民への情報提供や困りごとを把握
する仕組みをどう作るか

拡充する必要がある福祉活動の担い
手をどう確保するか

基本方針

支え合い 助け合う ふれあいのご近所づくり

支部活動推進計画

◎重点事業



できることからやってみよう！



「マップづくりを通じた支え合い活動の充実、強化」

支え合いマップ（以下「マップ」）を作成し、地域住民の抱える困りごとの発見とその解決に向けた取組みを行います。



〔具体的な取組み〕

支え合い活動の充実、強化

平成27年度	平成28年度
マップの作成 ・ 要支援者の把握 ・ 住民同士の支え合い状況の把握	必要に応じたマップの更新
マップの活用 ・ 見守り活動の充実 ・ ふれあい・いきいきサロンの充実 ・ 近隣住民同士の支え合い活動の実施 （例：電球の交換、ゴミ出し、買い物、通院の手伝いなど） ・ 避難行動要支援者の支援等	同左

◎全モデル支部での共通重点事業

「地域福祉活動の基盤強化」

地域の福祉課題解決のための活動基盤を強化するため、新たな担い手の確保、福祉情報の発信などの取り組みを行います。



1 活動者の登録の仕組みづくり

平成27年度	平成28年度
活動者バンク（仮称）の実施に向けた準備	活動者バンク（仮称）の実施、運営

2 地域福祉活動者への参加意向の把握

平成27年度	平成28年度
アンケート調査の実施（新たな協力者への要請）	—

3 福祉情報などの発信

平成27年度	平成28年度
支部だよりの発行（年間2回発行、自治会未加入世帯も含めた全戸配布）	支部だよりの充実（発行回数の増加、内容の検討など）

4 あいさつ運動

平成27年度	平成28年度
・ PR（腕章作成、情報誌への掲載など） ・ 実施団体（学校など）との連携、協力 ・ 学校の登下校時の積極的な声かけ	活動内容の充実



5 財源の捻出

平成27年度	平成28年度
継続実施（ミニバザー、イベント模擬店出店、他）	活動内容の充実

◎既存事業の充実

支え合いマップや活動者バンク（仮称）の取組みなどを通じて把握できるニーズや人材の状況などを踏まえて、既存の諸事業の充実強化を図ります。



1 見守り活動（チーム数11、福寿草配付部数48）

平成27年度	平成28年度
継続実施	同左

2 ふれあい・いきいきサロン（年間約60回開催）

平成27年度	平成28年度
- 世代間交流を含む様々なサロンの継続実施（四季の集い、ウォーキングサロン、手芸・ゲーム・生け花などの趣味の集い、おしゃべり喫茶サロン等） - 内容の充実	同左



3 新入学児童お祝い事業（子供会と共催）

平成27年度	平成28年度
- イベントの継続実施 - 活動内容の充実	同左

4 敬老会、ふれあい祭り、自治会館整備事業支援バザー他（自治会と共催）

平成27年度	平成28年度
- 継続実施 - 活動内容の充実	同左

5 車椅子貸出事業（支部所有車椅子1台）

平成27年度	平成28年度
支部だより等で周知を図る	同左

6 社協会員募集、募金活動等（自治会の協力により実施）

平成27年度	平成28年度
- 新規会員募集の実施 - 募金活動の継続実施	同左

発行日 平成27年3月

発行 社会福祉法人ふじみ野市社会福祉協議会

〔本部・上福岡支所〕

〒356-0011

埼玉県ふじみ野市福岡 1-1-1

ふじみ野市役所第3庁舎

TEL 049-264-7212（代表）

FAX 049-264-9440

✉ info@fujimino-shakyo.or.jp

〔大井支所〕

〒356-0058

埼玉県ふじみ野市大井中央 2-2-1

大井総合福祉センター4階

TEL 049-266-1981（代表）

FAX 049-266-1907

✉ ohishisho@fujimino-shakyo.or.jp